

# 化学物質等健康被害相談センターいわき

## 結成総会

今、世界で使用している化学物質の数は10万物質とされています。そのうち日本で使用している化学物質は、5万物質と推測されています。近年、化学物質の慢性的な曝露による化学物質過敏症の被害を受けている人が数多く出現し、いわき市内でも複数の患者がいます。科学物質が日常生活用品に使用される頻度が高まるにつれて健康被害が多く出現することが予想されます。

よって、「化学物質等健康被害相談センターいわき」を結成し、健康被害に遭われた方々と連携しながら、化学物質の削減や健康保持等の取り組みを行っていきます。

**日時：2016年5月25日(水)**

**18:00~20:00**

**場所：いわき市労働福祉会館 3階 中会議室1**

### 当日の内容

1. 講演：演題「化学物質等による健康被害対策について」

講師：狩野光昭 (いわき市議会議員)

- (1) 合成洗剤等による化学物質過敏症について
- (2) シックハウスや農薬などによる化学物質過敏症について
- (3) 電磁波による過敏症について
- (4) フッ素化物応用について
- (5) 環境ホルモンから赤ちゃんを守るために

2. 化学物質過敏症などの予防対策について

3. 化学物質削減等の取り組みについて

4. 化学物質等健康被害相談センターいわき結成総会(案)について

◎資料代：500円

\*資料準備の都合上、参加者は5月20日(金)まで社民党いわき総支部(☎27-8700・FAX27-0448)または、準備会事務局 鈴木真由美(☎・FAX 兼用 23-2775)へご連絡ください。

◆主催：化学物質等健康被害相談センターいわき準備会◆